

鹿児島県感染症情報

2015年 第18週報 (4月27日~5月3日)

発行：鹿児島県環境保健センター

※感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、4週連続で増加し、例年と比べると、高値で推移しています。予防方法としては、手洗い・うがいやマスクの着用が有効です。

★ **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生動向とその予防対策**

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、前週(253人)より31人多い284人(定点当たり報告数5.16)です。鹿児島市保健所は、16週連続で流行発生警報域となっています。前週の報告数を上回った保健所は、鹿児島市、志布志、鹿屋をはじめ6保健所でした。

予防方法としては、菌の付着した手を介した接触感染、咳やくしゃみ等による飛沫感染があることから、手洗い・うがいやマスクの着用が有効です。また、タオルの共用を避けることが大切です。

SFTS予防対策としては、マダニに咬まれないよう、草むら等に入る際は、長袖、長ズボン等を着用してください。

★ **SFTS(重症熱性血小板減少症候群)の発生動向とその予防対策**

平成27年における1例目の届出が第17週にありました。全国の届出状況では、第18週時点で5例の報告があり、週別をみると、5週(1例)、17週、18週(それぞれ2例)となっていますので、今後の動向に注意してください。

(問)SFTSウイルスにはどのようにして感染するのですか。

(答)多くの場合、ウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染します。患者の多くはマダニの活動期である春から秋にかけて発生しています。

(問)重症熱性血小板減少症候群にかからないためには、どのように予防すればよいですか。

(答)マダニに咬まれないようにすることが重要です。これは、SFTSだけではなく、国内で毎年多くの報告例がある、つつが虫病や日本紅斑熱など、ダニが媒介する他の疾患の予防のためにも有効です。特に、マダニの活動の盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。草むらやヤブなど、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。 — SFTSに関するQ&A(厚生労働省)から抜粋 —

感染性胃腸炎の報告数が4週連続で増加しました。例年、この時期から病原性大腸菌、カンピロバクター、サルモネラ属菌等の細菌による食中毒の発生がみられます。①食品の十分な洗浄、肉の十分な加熱調理。②調理器具の消毒、徹底した衛生管理。③調理する際における石けんを使った手洗いの励行。等を心がけてください。

☆ **一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況**

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核5例(肺結核4例、結核性胸膜炎1例)
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1例【血清型/毒素型：O26/VT1(1例)】
四類感染症	発生報告なし 追加重症熱性血小板減少症候群(第17週：1例)
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

☆ **定点報告疾患の発生状況**

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点 **93**、小児科定点 **55** です。
- ・第18週の定点把握対象疾患の総報告数は1424人で、前週(1446人)より22人少ない報告数でした(詳細については後述)。
- ・**流行発生警報**の基準値(開始基準値及び終息基準値)以上の保健所は次のとおりです。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(開始8、終息4)】：鹿児島市(14.77)、【手足口病(開始5、終息2)】：川薩(4.75)

【咽頭結膜熱(開始3、終息1)】：川薩(3.50)、【伝染性紅斑(開始2、終息1)】：鹿児島市(2.08)、鹿屋(2.00)

- ・**流行発生注意報**の基準値以上の保健所は次のとおりです。

【水痘(基準値4)】：西之表(5.00)

※ (数値) は定点当たり報告数
※ アンダーラインは今週基準値以上の保健所

☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

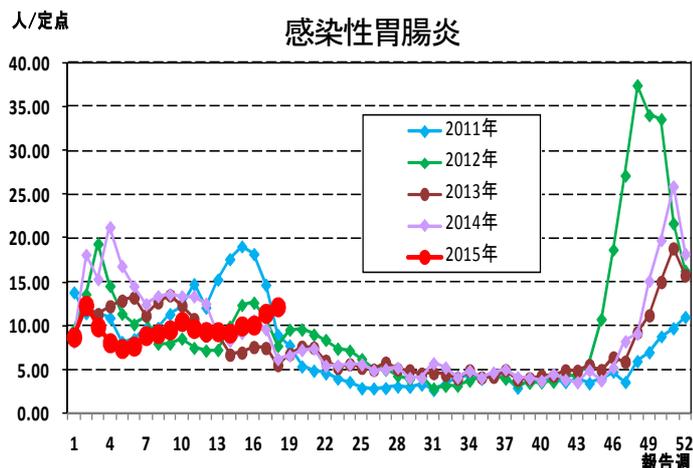
(1) 感染性胃腸炎

第18週の感染性胃腸炎の報告数は670人で、前週より41人多く、定点当たりの報告数は12.18であった。

年齢別では、10～14歳(80人)、20歳以上(77人)、1歳(73人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、始良保健所(19.71)、鹿児島市保健所(18.31)、鹿屋保健所(16.00)の順に多い。

第12週以降、流行発生警報域の保健所はない。



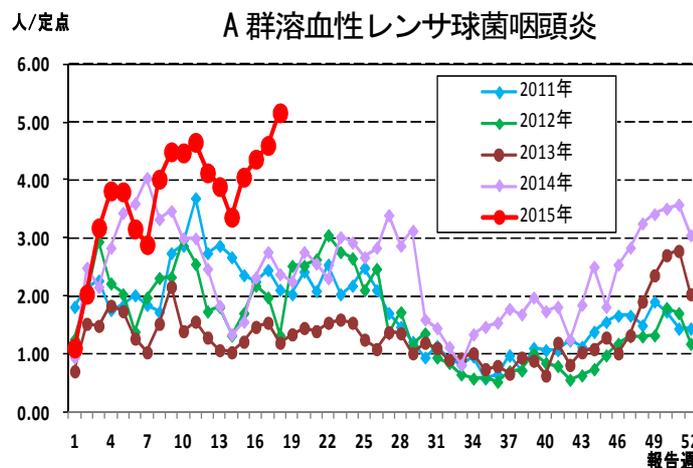
(2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第18週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は284人で、前週より31人多く、定点当たりの報告数は5.16であった。

年齢別では、5歳(49人)、4歳(36人)、7歳(34人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所(14.77)、川薩保健所(5.50)、志布志保健所(4.67)の順に多い。

鹿児島市保健所が16週連続で流行発生警報域である。



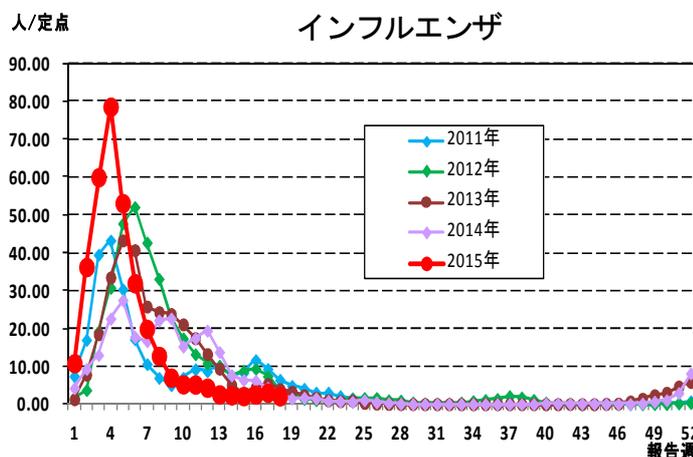
(3) インフルエンザ

第18週のインフルエンザの報告数は194人で、前週より87人少なく、定点当たりの報告数は2.09であった。

年齢別では、10～14歳(34人)、15～19歳(24人)、6歳(17人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、加世田保健所(3.83)、名瀬保健所(3.60)、伊集院保健所(3.33)の順に多い。

第17週以降、流行発生警報域及び流行発生注意報域の保健所はない。



厚生労働省は、蚊媒介感染症の対策を進める必要があるとして、新たな予防指針に定めた疾患に、**デング熱、チクングニア熱、ウエストナイル熱**など11種の蚊媒介感染症を加えました。特に、デング熱及びチクングニア熱は、重点的に対策を講じる必要がある蚊媒介感染症に位置付け、平常時及び有事における対策を適切に実施するために、国、地方公共団体等が取り組むべき施策が示されています。この予防指針は4月28日からの施行です。

蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針の対象となる疾患名

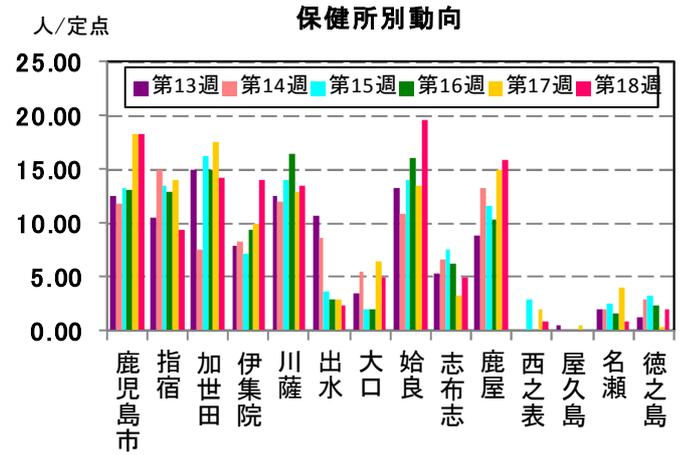
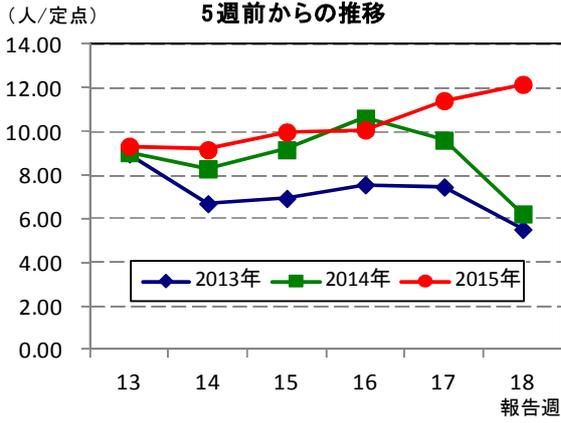
- | | | | |
|----------|--------|---------|-----------|
| ウエストナイル熱 | 黄熱 | 西部ウマ脳炎 | チクングニア熱 |
| デング熱 | 東部ウマ脳炎 | 日本脳炎 | ペネズエラウマ脳炎 |
| マラリア | 野兔病 | リフトバレー熱 | |



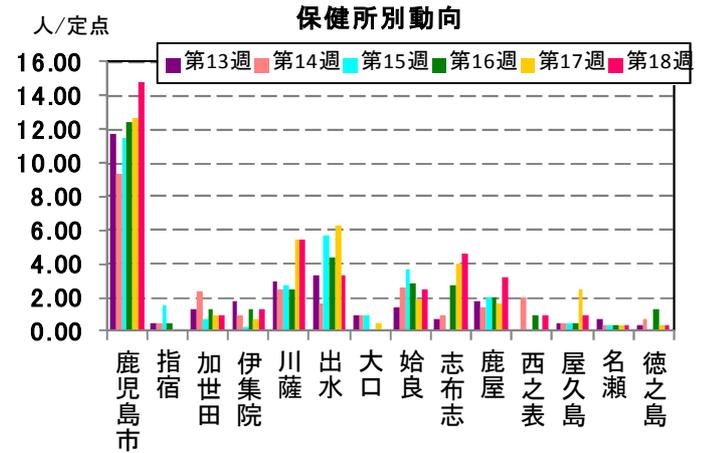
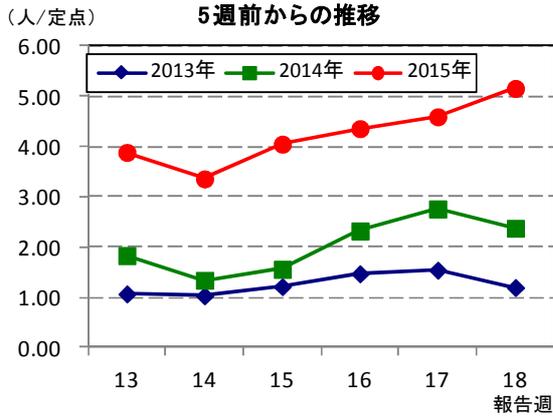
代々木公園 殺虫剤をまく職員
資料：東京都健康安全研究センター

☆上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

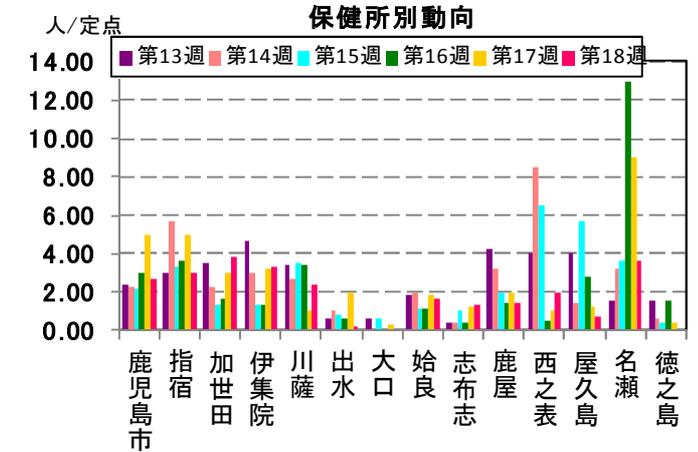
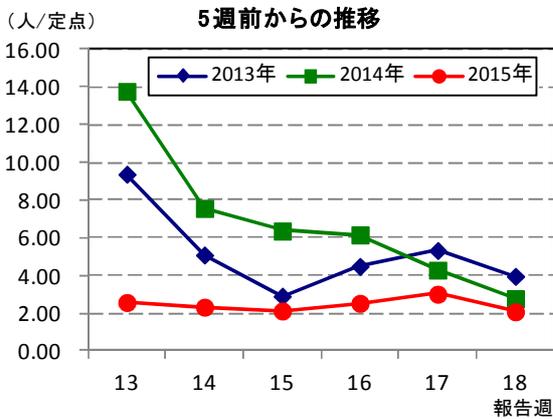
(1) 感染性胃腸炎



(2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

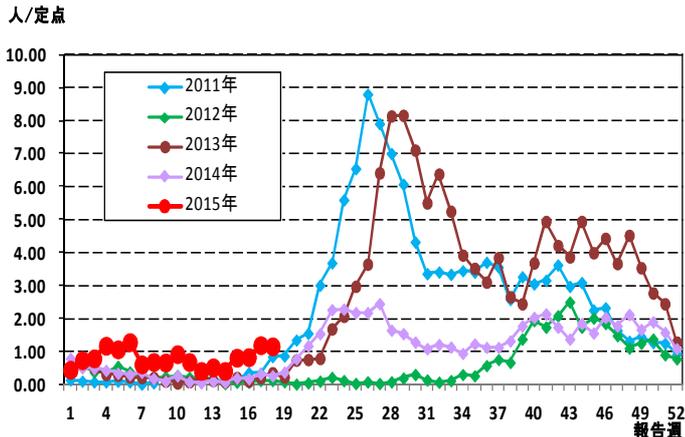


(3) インフルエンザ

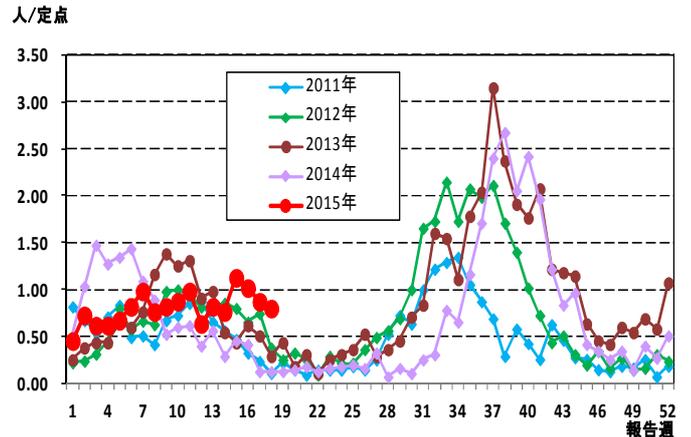


☆注目される感染症の発生状況

★手足口病の発生状況 (鹿児島県)



★RSウイルス感染症の発生状況 (鹿児島県)



☆定点報告疾患の発生状況

2015年	(報告週)	第18週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2015年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	194	2.09	31,603
小児科定点	咽頭結膜熱	43	0.78	554
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	284	5.16	3,696
	○ 感染性胃腸炎	670	12.18	9,544
	○ 水痘	26	0.47	674
	手足口病	64	1.16	799
	○ 伝染性紅斑	42	0.76	359
	突発性発しん	30	0.55	443
	○ 百日咳	1	0.02	23
	ヘルパンギーナ	9	0.16	45
	○ 流行性耳下腺炎	12	0.22	185
	RSウイルス感染症	44	0.80	790
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	1
	○ 流行性角結膜炎	5	0.71	60
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	2
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	24
報告数合計		1,424	0	48,802

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2015年13週)	4週前 (2015年14週)	3週前 (2015年15週)	2週前 (2015年16週)	1週前 (2015年17週)	今週 (2015年18週)
インフルエンザ	報告数	240	217	198	236	281	194
	定点当り	2.58	2.33	2.13	2.54	3.02	2.09
RSウイルス感染症	報告数	45	42	62	56	48	44
	定点当り	0.82	0.76	1.13	1.02	0.87	0.80
咽頭結膜熱	報告数	24	24	23	36	51	43
	定点当り	0.44	0.44	0.42	0.65	0.93	0.78
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	214	185	223	240	253	284
	定点当り	3.89	3.36	4.05	4.36	4.60	5.16
感染性胃腸炎	報告数	514	505	550	555	629	670
	定点当り	9.35	9.18	10.00	10.09	11.44	12.18
水痘	報告数	29	21	33	21	23	26
	定点当り	0.53	0.38	0.60	0.38	0.42	0.47
手足口病	報告数	29	23	45	46	66	64
	定点当り	0.53	0.42	0.82	0.84	1.20	1.16
伝染性紅斑	報告数	25	24	20	36	33	42
	定点当り	0.45	0.44	0.36	0.65	0.60	0.76
突発性発しん	報告数	25	30	32	34	41	30
	定点当り	0.45	0.55	0.58	0.62	0.75	0.55
百日咳	報告数	-	1	1	2	-	1
	定点当り	-	0.02	0.02	0.04	-	0.02
ヘルパンギーナ	報告数	1	-	6	9	10	9
	定点当り	0.02	-	0.11	0.16	0.18	0.16
流行性耳下腺炎	報告数	7	13	5	10	8	12
	定点当り	0.13	0.24	0.09	0.18	0.15	0.22
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	5	4	1	2	3	5
	定点当り	0.71	0.57	0.14	0.29	0.43	0.71
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	1	-	-	-	-
	定点当り	-	0.08	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	9	1	-	-	-
	定点当り	-	0.75	0.08	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2015年18週(04月27日～05月03日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	194	2.09	44	0.80	43	0.78	284	5.16	670	12.18	26	0.47	64	1.16	42	0.76	30	0.55	1	0.02
鹿児島市	62	2.70	17	1.31	16	1.23	192	14.77	238	18.31	9	0.69	17	1.31	27	2.08	9	0.69	1	0.08
指宿	9	3.00	-	-	2	1.00	-	-	19	9.50	-	-	1	0.50	-	-	3	1.50	-	-
加世田	23	3.83	1	0.33	-	-	3	1.00	43	14.33	-	-	12	4.00	1	0.33	1	0.33	-	-
伊集院	20	3.33	1	0.25	2	0.50	5	1.25	56	14.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	17	2.43	-	-	14	3.50	22	5.50	54	13.50	4	1.00	19	4.75	2	0.50	11	2.75	-	-
出水	1	0.20	-	-	3	1.00	10	3.33	7	2.33	2	0.67	8	2.67	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	3	1.50	-	-	-	-	10	5.00	-	-	1	0.50	-	-	2	1.00	-	-
始良	18	1.64	17	2.43	6	0.86	17	2.43	138	19.71	2	0.29	-	-	-	-	2	0.29	-	-
志布志	7	1.40	1	0.33	-	-	14	4.67	15	5.00	1	0.33	1	0.33	2	0.67	-	-	-	-
鹿屋	12	1.50	4	0.80	-	-	16	3.20	80	16.00	2	0.40	-	-	10	2.00	2	0.40	-	-
西之表	4	2.00	-	-	-	-	1	1.00	1	1.00	5	5.00	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	3	0.75	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	18	3.60	-	-	-	-	1	0.33	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	1	0.33	6	2.00	1	0.33	5	1.67	-	-	-	-	-	-

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	9	0.16	12	0.22	0	0.00	5	0.71	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鹿児島市	4	0.31	9	0.69	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	-	-	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	2	0.40	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	2	1.00
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）

2015年18週(04月27日～05月03日)

(インフルエンザ定点報告疾病)		合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告数	194	-	-	1	1	3	4	5	17	15	16	11	34	24	4	15	14	9	9	5	7
	定点当り	2.09	-	-	0.01	0.01	0.03	0.04	0.05	0.18	0.16	0.17	0.12	0.37	0.26	0.04	0.16	0.15	0.10	0.10	0.05	0.08
(小児科定点報告疾病)		合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～						
RSウイルス感染症	報告数	44	10	11	16	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.80	0.18	0.20	0.29	0.09	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告数	43	-	3	14	6	6	3	3	2	2	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.78	-	0.05	0.25	0.11	0.11	0.05	0.05	0.04	0.04	-	-	0.04	-	0.04	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	284	-	-	16	17	26	36	49	27	34	26	16	32	-	5	-	-	-	-	-	-
	定点当り	5.16	-	-	0.29	0.31	0.47	0.65	0.89	0.49	0.62	0.47	0.29	0.58	-	0.09	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	報告数	670	4	27	73	61	51	49	52	56	40	53	35	80	12	77	-	-	-	-	-	-
	定点当り	12.18	0.07	0.49	1.33	1.11	0.93	0.89	0.95	1.02	0.73	0.96	0.64	1.45	0.22	1.40	-	-	-	-	-	-
水痘	報告数	26	-	1	8	2	2	3	2	3	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.47	-	0.02	0.15	0.04	0.04	0.05	0.04	0.05	0.02	0.04	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	報告数	64	1	1	18	14	12	11	2	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	1.16	0.02	0.02	0.33	0.25	0.22	0.20	0.04	-	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告数	42	-	1	1	1	5	4	14	2	3	4	2	4	1	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.76	-	0.02	0.02	0.02	0.09	0.07	0.25	0.04	0.05	0.07	0.04	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告数	30	1	11	15	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.55	0.02	0.20	0.27	0.04	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告数	9	-	2	3	1	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.16	-	0.04	0.05	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告数	12	-	-	-	1	-	2	-	1	-	2	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.22	-	-	-	0.02	-	0.04	-	0.02	-	0.04	0.07	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
(眼科定点報告疾病)		合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～	
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	1	-	-	-
	定点当り	0.71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.43	0.14	-	0.14	-	-	-
(基幹定点報告疾病)		合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-